

和日書讀



本日のテーマ 色

色の持つ力は不思議ですよ。例えば、急に自分の着ている服の色が気に入らなくなってしまったりすると、何とも落ち着かない気分になりませんか。反対に気に入った色だと、いつもより自信が持てたり…。

動物が本能的に保護色を身にまとうように、人間も生活の中で何かしら無意識に(時には意識的に)色の持つ力を受けているのだと思います。

今回は、そんな不思議な力のある「色」がタイトルに入っている本を紹介します♪

◆故郷の因習の中で少年がみたものとは『白いへび眠る島』 三浦 しをん

夏休み、高校生の悟史は十三年ぶりの大祭という故郷の行事にあわせて帰郷します。因習の「持念兄弟」という絆で結ばれている幼なじみ・光一との再会は嬉しくも、島独特の排他的な雰囲気違和感を覚え…それは自分の持つ『不思議』の力によって、「あれ」と伝わる異形な怪物を見てしまったことからさらに強まります。

古い因習とその中に生きる人間のしがら

み、力を持つもの持たざるものの葛藤とともに、高校生が普通に抱く将来への漠然とした不安感や自由への渴望という気持ちが豊かに表現されています。エッセイでは乙女心の妄想炸裂で笑わせてくれる著者の、又違った雰囲気物語となっています。

◆もう一人の自分が真実を暴く物語『フリーキー・グリーンアイ』

ジョイス・キャロル・オーツ

「そう、人は正しい行いをするために罰を受けなければならない」作中の言葉です。フランキーは家族に恵まれて暮らしていました。ですが突然の母の失踪。内なるもう一人の人格=フリーキー・グリーンアイ(いかれた緑色の目)が予想もしない真実を暴くことになります。十代の頃の両親や友達に対する不安定な気持ちを抱える生活の中で、この言葉どおり、本当の自分との対面、人間の裏と表の顔という現実と向き合うこととなります。過酷な結末ですが、それを正面から見据えて前に進む主人公の力強さが心に響きます。

◆何気ない日常風景の中の色たち『きれいな色とことば』 おーなり 由子

日常の生活の中を表現したとして、こんなにきれいなことばにできるかなあと、感受性豊かな著者ならではの表現力に脱帽です。個人的には青焼けというものの存在を初めて知りとても見てみたくなりました。優しい雰囲気イラストとことばが心穏やかな気持ちにしてくれる一冊です。

お知らせ

図書館ボランティア募集中!

習志野市立図書館では、図書館ボランティアを募集しています!

YA世代は、勉強・部活・友達つきあいと多忙だと思います。…でももし図書館が好きで、図書館の仕事に興味がある人はチャンスですよ! 普段は足を運ばない書架を(整理しつつ)眺めていると新しい本との出会いがあるかも?! 登録は活動希望の各図書館に直接お問い合わせください。(中学生は保護者の同意が必要です)



編集後記
・ティーンズレタ
ー 第三回はい
がでしたか?
次回は、教団にお
会いしましょう!
本スタッフ
が、高1の時に
教1で赤点スレ
スレの点を取り
ました。数回は
二度と見たくな
いです。(笑)
SHIBANO
133の扉はな
てもドキドキ
ました!
(みちこ)
好きな数
アです。そし
がつく本とい
部活みゆきの
ヘルプ! 通学
車での読み
(COM)



2006年7月
ヤングアダルト通信
vol.3

習志野市立大久保図書館

習志野市本大久保3-8-19

TEL 047-475-3213

<http://www.city.narashino.chiba.jp/~okb-lib/>

キャラクター名 決めました!!



気になる名前は…

ドックン
Dokkun

です!

3面の「Book Life」で、さらに詳しい説明をしているのでチェックして下さいね♪

Vol. 2で募集した「ティーンズコーナキャラクター名」の応募総数はなんと70通!! 名前を考えたみんな、ありがとうございました~☆たくさんさんの良い名前があって、本当に迷っちゃいました。これからはボク、Dokkunをよろしくお願いします◎



